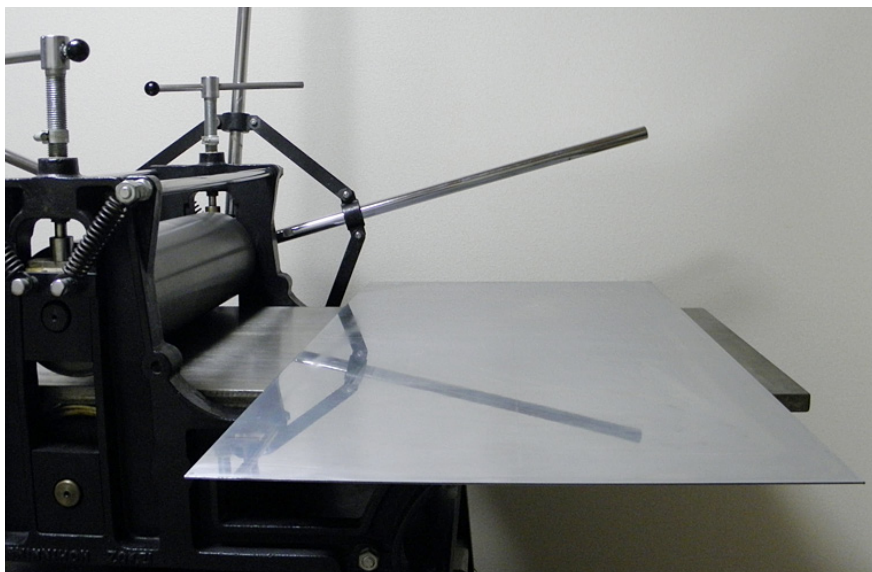


10 原版とベッドプレートに印しをつける

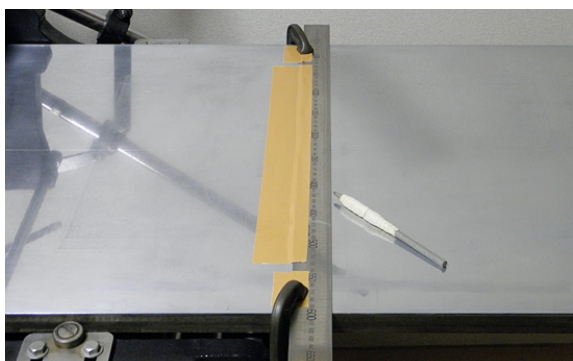


写真：
プレス機と亜鉛板

印刷では、版をプレス機に通して印刷する度に、印刷用紙の同じ位置に図柄を印刷する必要がある。それで印刷の都度、版と印刷用紙をベッドプレートの中央に置く工夫が必要になる。そのために、ここではプレス機のベッドプレートと同じ大きさの2ミリ厚の亜鉛板を重ね、その亜鉛板の各対辺の中心を結んで線を罫書いている。これが原版及び印刷用紙の印しを合わす基準になる。

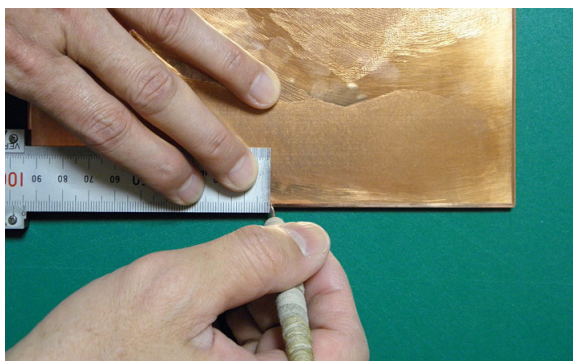
多くの技法書では、版をベッドプレートに置いてから印刷用紙を乗せる方法が述べられているが、私の場合は順序が逆である。先に印刷用紙をベッドプレートの中央に置き、印刷用紙の位置を決めてから版を置く。それには、印刷用紙の端（ローラー側）に重しを置いて固定し、次にその印刷用紙をめくってラシャの上に乗せ、インキを詰めて拭き上げた版をベッドプレートの中央に置く。その後、印刷用紙の重しを取り除いて印刷する。その為には、前もって次のような準備が必要である。

製版を終えた版のプレートマークは、腐蝕で傷んでいることが多い。それで、再度ヤスリをかけてスクレーパーで削り取り、さらにバニッシャーで均して整える。そのプレートマークの4辺に中心線を罫書しておく。また、印刷用紙は、湿す前に裏面の各辺に印しをつけておく。この印刷用紙については先述の印刷用紙の準備を参照されたい。



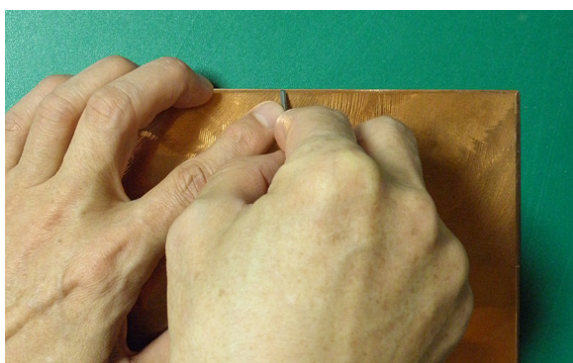
ベッドプレートに印しをつける

ベッドプレートと同じ大きさの2ミリ厚の亜鉛板を準備する。亜鉛板の各対辺の中心から中心へ、ケガキ針で強めに罫書く。このとき交差する線が直角に交わるように罫書く。線を罫書くときは定規をしっかり固定する。

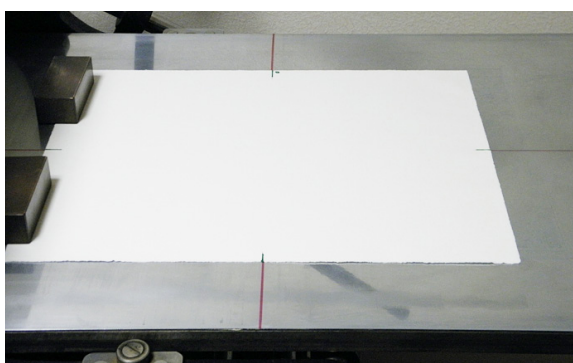


原版に印しをつける

1. プレートマークの中央にニードルで印しをつける。印す中心は同じ辺から計る。そのようにして4辺に中心線を罫書く。

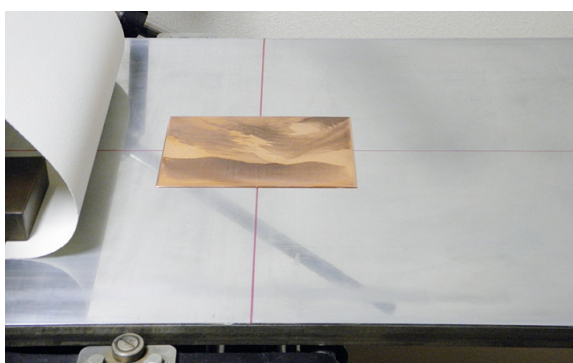


2. 印しを見易くするためにビュランで軽く彫り込んでもよいだろう。ニードルで印してできたバア（まくれ）、またはビュランで彫った線は、オイルを塗布してバニッシャーで均してインキの引っ掛かりをなくす。



印刷の仕方

1. 印刷では、印刷用紙を先にベッドプレートに置いてから版を置く。印刷用紙の位置が決まったら、ローラー側に重しを2個置いて固定する。印刷用紙には、湿す前に型紙を用いて裏側に印しをつけておく。尚、写真は説明のためにマジックインキで見当を印している。



2. 印刷用紙をラシヤの上にめくり、インキを詰めて拭き取った原版を置く。その際、プレートマークの印しと亜鉛板のベッドプレートに印している線を合わせる。これで原版はベッドプレートの中央に置かれたことになる。

原版及びベッドプレートに印しをつけるについて

このような方法をとれば、印刷の度に印刷用紙の同じ位置に図柄を印刷することができる。原版の大きさが変わっても同じことである。また、先に印刷用紙の位置を決めるので、作品の余白を汚すこともない。亜鉛板は、プレス機のベッドプレートと同じ大きさに金属店でカットして貰うとよい。尚、罫書いた後のバア（まくれ）は、スクレーパーを滑らすように当てて取り除くか、耐水研磨ペーパーを用いて取り除く。また、印刷用紙の裏側に型紙を用いてつける印しは、サインなどを考慮して余白をとるので、上下の中心ではない。